

# わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

Tel(0880)33-0247 Fax(0880)33-0518

ホームページ⇒ <https://wakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘

※ホームページアドレスが変わります



12.28 お餅つき  
年の瀬せまったこの日、園庭でついで、ホールでまるめました。



## 新年の御挨拶



施設長 福留久美

向春の候、暦の上で春立つとは申ししても、まだまだ寒い日が続いております。平素より当法人事業へのご支援、ご厚情を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、感染が蔓延している中、なにかと窮屈さや心配が尽きぬ辛抱の時期が再来しております。いつ誰が感染しても不思議ではない状態ではありますが、若草園でも感染対策と健康管理をしっかり行いながら、この苦境を乗り越りたいものと存じます。

2022年4月1日から、児童に関する法律が改正され「成年年齢は18歳」となります。これに先駆け、選挙権年齢などが18歳と定められて国政上の重要な事項の判断に参加してもらうための政策が進められてきました。それらの流れも踏まえ、市民生活に関する民法において「18歳以上の人を大人として取り扱うのが適当ではないか」という議論がなされるようになりました。世界的にも、大多数の国と地域で成年年齢18歳が主流であることも改正事由と記されておりますが、人口減少による成人人口減少は、大きく社会保障や年金等へ影響してくることから、そのあたりも関連があるのではないのでしょうか。この18歳成人によって本人の意思で貸貸、クレジットカード、ローン等の契約が出来るようになることは、経験が乏しい若者にとって消費者被害や多重債務などの危険が懸念されます。子ども達を社会へ送り出す責任ある私たちにとって、退所した子ども達が「生きづらさ」を抱え込まないような見守りが益々必要となって参ります。

筆末ではございますが、皆様のいっそうのご活躍とご健勝をお祈り申し上げますと共に本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

### 育児相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ

でんわ (0880)

31-0311

24時間 365日

相談料無料

(通話料はかかります)



# まど若草園の様子

dōTERRA



夕間に窓の明かりがこぼれる若草園

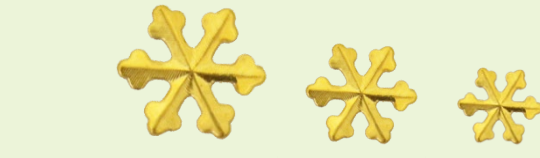


子どもは風の子  
寒い季節ですがサッカー少年には無関係のようです。



若草園への贈り物  
この時季には地域の方々からたくさんプレゼントが届きます。今年も香油メーカーテラのヒーリングハンズサンプロジェクトにより各子どもの願いを叶えて頂きました。また祥雲さんからは下田郵便局を通じて各ホームにおせち料理が届きました。次号にてすべてを紹介致します。

働く車  
童謡にもありますが子どもは働く車が好きです。買い物に出かける時に軽トラを所望する子どももいます。荷台の上で記念撮影。



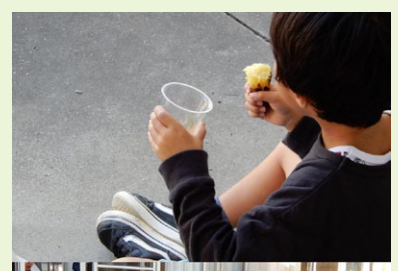
12.8 リースづくり  
クリスマスの準備に手作りリースを楽しみました。



12.25 ~ 27 Bホーム旅行  
今年卒業する高校生が居るBホームではコロナが穏やかな隙間を縫って九州方面に旅行に行きました。



11.3 やきいも  
祝日のこの日、園庭でやきいもを楽しみました。



12.18 Xmas 礼拝  
去年はコロナのため中止となりましたが2年ぶりに救い主キリストの誕生を祝いました。



12.18 Xmas 祝会  
「いただきます」で全国シャンメリ協同組合から毎年届くシャンメリの栓を開けます。「こわいよ〜」。



出し物には、働く車を工作して歌と踊りで盛り上げてくれました。



## 載りました!!

コーナー



## 読もっか

こども高知新聞

堂々とした立ち姿

★下田小6年・剣術小町さんは、中学校の部活の体験入部です。私の希望は、美術部、家庭科部、剣道部でした。最初は家庭科部に行きましたが、やっぱり気になって剣道部を見に行きました。

涼子さんに聞いてはいたけど、思っていたより難しかったです。すり足は素足でやるからうまくすれなくて動きにくかったし、面も、足でダンッと力強く地面をけらなれないといけなくて、足がビリッとなりました。でも、竹刀を持っているときの堂々とした立ち姿がかっこよくて、どんどん楽しくなってきました。楽しい剣道がすたれてほしくないから、絶対に剣道部に入ろうと思えました。

中学生になったら自分が習ったことを人に話して、少しでも剣道の楽しさを伝えたいです。



★下田小5年・ぼりすくん

他にもいろいろびっくりする物がたくさんありました。

花もよし 香も良しのキンモクセイ

★下田小5年・ぼりすくん

「若草園の坂には金木犀の木があります」



楽しみにしていた修学旅行

★下田小6年・防弾少女さん

修学旅行で学んだ所は、平和資料館です。私は、さだ子ちゃんの折りづるの実物を見て、想像で、私達の学校と同じくらいやろうと思っていましたが、さだ子ちゃんが折ったおりづるはとても小さかったので、びっくりしました。大きさは、一センチメートルくらいでした。次にびっくりしたのは、しんちゃんの三輪車で鉄はとけないと思っていたけど原爆で鉄がとけると知ってびっくりしました。あんなにとけるとは思いませんでした。どれだけ原爆は、おそろしいものか知りました。

服から、骨が見えていてこわくなりました。吏絵先生が言っていた階段にすわっていた人の焼けたおしりの後もあるのを見て原爆がとかす事もできるのを実際に見て、おそろしさが伝わってきました。

楽しかったことは、レオマワールドで、私はジェットコースターを乗りたかったのでみてあげてジェットコースターは、他校の修学旅行がたくさんいたので1時間くらい待って、やっとジェットコースターに乗ることができてうれしかったです。私の番が来たとき、きん張して足や口がブルブルふるえたり、ビクビクしたりしました。動いて一番上に来たなと思っただけで下へさっとおりましたので、みんなびっくりして「キヤーカー」



ジェットコースターが終わった時、私は心の中でやっと終わったあ、おもしろかったあと思いました。修学旅行で、次また見学に行く時はホテルのお客さんやじゅう業員さんにもめいわくをかけないようにしたいです。他にも大用小の山脇先生が食事の後に「自分の部屋は閉めずに開けてください。」と言っていたのにカギを閉めてしまったので次に旅行に行く時は、目で聞くようにしたいです。他の学校の人たちと友達になれたので良かったし、いい思い出が作れたので良かったです。



「話している人に注目してよく聞くことを「目で聞く」と表現します」  
「修学旅行は昨年6月3〜5日に実施されたものです」



# 北京五輪に思う



事務 寺田知子



発音が正しく再現できているか迷いながらも私がグリッサンにその意味を尋ねたところ、彼女は顔をパアッと輝かせて「月のように美しいという意味の、

ユネスコにより国際児童年が制定された1979年、「ゴダイゴ」の『ユーティフル・ネーム』が日本中で聞かれた。歌詞の中に、  
「名前それは燃える命一つの地球に一人ずつ一つ」という個性を尊重する端的な内容がある。当時はまだ十分理解していなかったが、祖父母世代になつた今、深く首肯する自分がいる。

かつて、四万十市国際交流員として着任した中国人にウイグル族の方がいた。ウイグル族は今、中央政府による圧政が世界的にも問題視され、個人的にも心を痛めている。交流員のグリッサンとは日本語と漢語（いわゆる中国語）で交流していたが、私が僅かに知っているウイグル単語の中に「アイシエンギユエル」という言葉があった。

私が中国留学中にトルファンで、ある一家がラマダン（イスラム教の断食月）明けの食事会に招いてくれた。彼らはウイグル語しか話せなかったが身振り手振りで意思疎通した。末娘は木製のゆりかごに刺繍を施された帯で固定され（今の日本なら児童虐待といわれかねない）、母や兄にあやされていた。その子を指さして「アイシエンギユエル」と名前を教えられた。クリクリと大きな黒い眼は愛らしかった。食事会には山と積まれた羊料理を前に男性女性が集い、カレーズと呼ばれる伝統的な水場では子ども達が集まって遊んでいた。まだ80年代半ば、平和なウイグル族の光景として私の脳裏に刻まれている。

女の子の名前です」と即答してくれた。旅行写真家・藤原新也がエッセイの中で「アジアのどの国でも女の子なら花・月・美しいという意味の普遍的・伝統的な名前がある」などと述べておられたが、ウイグル語でもそういう名づけが行われていたのだった。

旧正月とともに開幕した北京冬季オリンピックで女子モーグル準決勝まで進んだアメリカ代表カイ・オーエンスの命名も興味深い。彼女は生後間もなく中国安徽省六安市市役所前に置き去りにされていた孤児で、児童福祉施設で育つた。施設でつけられた名前は陸詩琪。姓の陸はおそらく六安市の「六」に因んだと思われる。彼女は16カ月の時、米国オーエンス夫妻に引き取られ渡米、付けた名前「カイ」は中国語の「凱」に由来するという。オーエンス夫妻が彼女のルーツを大事にし、強く生きてほしいとの願いで漢字の意味と音を調べ抜いたネーミングだったのだろう。名前のとおり負けず嫌いな彼女は16歳で世界大会で優勝し、2022北京冬季五輪への切符を手に入れた。コロナが収まったら自身のルーツである中国に再び訪れ、生まれた町を訪ねたいと語っていた。

現在、若草園で色々な園児の名前に触れる。どの子どもも名前も考え抜かれたであろう言葉、音、漢字が並んだユーティフル・ネームで感慨深い。子ども達の行く末が、出生時に込められた大人の思いのとおり健やかで明るいものであることを願わずにいられない。

# 子ども達の年末年始

この冬は比較的コロナ感染症が小康状態でしたので全国的にも2年ぶりの帰省を楽しまれた方が多かったでしょう。若草園の児童もお正月には家庭に一時帰省します。24人の子ども達の年末年始は左の表の通りです。子ども達の帰省先には若草園の職員宅や週末里親もあります。「ファミリールーム利用」とは、保護者が若草園にやってきました。

【帰省日数】	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
帰省なし	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1
外出面会	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1
1泊2日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2泊3日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3泊4日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4泊5日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5泊6日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
それ以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【帰省先】	母宅	7	5	3	2	2	2	1	3	1
	両親宅	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	祖母宅	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	父宅	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	職員宅	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	週末里親	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ファミリールーム利用	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	帰省なし	1	1	1	1	1	1	1	1	1



編集後記

ある日の夕方、外で遊んでいる子どもが「園庭に鳩がいる」という。都市部で糞害で嫌悪されているあの鳩が飛んできたのかと見に行けば足環があった。伝書鳩だろうか。角度を変えて何枚か撮影すると携帯番号が読み取れたので早速かけてみた。▼今はレース鳩と呼ばれているようだ。数日前に愛媛県で放つた一羽が迷い込んだものだった。近年では鳩は巷にあふれる電磁波などの影響により本来の帰巢本能が発揮されず、迷う鳩も多くなったのだという。鳩は鳥インフルエンザのリスクがないとの事で安心して捕獲する事にした。▼飼主の責任とは言え、主は九州から一晩中車を飛ばし、フェリーに乗り、翌日の朝には若草園にやって来られた。お世話になったから、と、手には九州銘菓も携えて。▼ふと聖書の「ある人が羊を百匹持つていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか」という言葉を思い出した。▼十把一絡げという悪い言葉があるが、この一羽の鳩はしあわせな奴だと思われた。飼主にとっては唯一の鳩のように扱われたのだから。▼小さい存在に深い愛情を注ぐという事。寒い季節に心温まるべきことだった。(せと)